



Hyogonews

令和7年6月

HYOGO
ニュース
No.395

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稔雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会に参加して	1
	第19回丹但地区研修会に参加して、子宮頸がん予防啓発 LOVE49キャンペーン in KOBE	2
#研究班(チーム医療・管理運営研究班)、今後の予定、行事・求人案内	3	
[第8回] 突撃! となりの検査室(公益財団法人 加古川総合保健センター)	4	
(新シリーズ) 会員情報『私の推し事』	5	

第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会に参加して

渡邊 勇気 会員 (神戸大学医学部付属病院)

第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会が加古川総合保健センターのウェルネージホールで、『認知症に関する知識を深める』というテーマのもと開催されました。

認知症領域の研究に取り組んでおられる河月先生の招待講演では、「育成」「臨床現場」「公衆衛生」の3つの視点での取り組みについて聴講しました。認知症領域への臨床検査技師の関わり方について知ることができ、大変勉強になりました。

学術企画のメーカーからの情報発信では、認知症検査に関するキットや試薬について実際に体験することもでき、さまざまなツールを知る良い機会だったと思います。

山本先生の学術奨励賞受賞記念講演では、技師会活動に関する話を聞くことができ、今後の技師会活動の参考にしたいと思います。

一般演題でも症例報告や検討の報告など、さまざまな分野からの発表があり、興味深い内容ばかりでした。

今回、このような会を開催・運営していただきました皆様に感謝いたします。



第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会に参加して

下山 瑠奈 会員 (明石市立市民病院)

招待講演では鳥取大学の河月先生に認知症についてご講演いただきました。高齢化社会において重要な病気である認知症ですが、恥ずかしながら知識不足で、検査方法や治療薬など今回初めて知ることが多くありました。頻度は少ないものの業務の中で患者に接することがあるため、認知症について考えるとても良い機会になりました。

一般演題では貴重な症例報告、検査方法の検討、実際に認知症検診に携わる臨床検査技師の発表などを聞くことができ、大

変勉強になりました。私は普段微生物検査を担当していますが、皰膜炎菌検出の1例を聞き、臨床側への迅速な報告や感染対策を行う上で多職種との連携の重要性を再認識しました。また、採血量や尿検体の遠心の有無が検査値に影響を与えるという発表を聞き、日当直では担当分野以外の検査も行うため、正確な検査ができるよう知識を深めていかなくてはならないと感じました。

最後になりましたがご講演してくださった先生方、企画・運営してくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第19回 丹但地区研修会に参加して

小西 翔子 会員（公立八鹿病院）

令和7年3月1日に開催された第19回丹但地区研修会に参加しました。

1題目では講師の方の経験から学ばれた臨床の現場での実践と教訓をお話して頂き、私自身も転職経験がある為共感する部分が多くありました。教える側から教わる側になった時の事を思い出し、今までの仕事に対する姿勢を振り返る良い機会になりました。

2題目でお話された『中小規模病院でも研究はできる!』の内容にありました他部門を経験した事により気付ける疑問があるという事、私自身現在ローテーションで仕事をしていますので、正直研究まではなかなか難しい部分はありますが、改めて仕事に対する意識を変える機会を頂いたと思い、日々の仕事に活かしたいと思います。

大変有意義な研修会をありがとうございました。



子宮頸がん予防啓発 LOVE49キャンペーン in KOBE



毎年4月9日の「子宮頸がんを予防する日（子宮の日）」を中心に全国で子宮頸がん予防・啓発活動が行われています。兵庫県でも4月13日(日)須磨パティオ＆名谷駅前広場で「LOVE49キャンペーン in KOBE」が開催されました。

当日は悪天候のため屋外イベントに変更がありましたが、屋内でミニコンサートやトークショーが繰り広げられました。当会は、子宮頸がんについての正しい知識の普及と検診のイメージアップを目的として啓発ポスターの展示を行いました。

「若い世代がかかる身近ながん」それが「子宮頸がん」です。早期の段階で発見することが重要です。そのため20歳からの子宮頸がん検診が推奨されていますが受診率は約40%、他の先進諸国70%以上にはほど遠い現状です。このような低受診率を変えるべく臨床検査技師の私たちも啓発活動を継続していくことが大切です。また参加者からは臨床検査技師の仕事に対する質問もあり、このような啓発活動も臨床検査技師を知ってもらうきっかけの一つになるのだと感じました。まずは自分、そして周囲の大切な人に検診の重要性を伝えていきましょう。（文責：広報部 西田 純子）



#研究班

神前 雅彦 会員（チーム医療・管理運営研究班班長）

チーム医療・管理運営研究班の神前です。

今回はチーム医療・管理運営班が担当とのことで、どういった記事にしようかと悩んでいた矢先に、日臨技より認定認知症領域検査技師の資格更新のメールがありまして、せっかくなので認知症について少しお話させていただきます。

突然ですが、みなさん2025年問題というのをご存じでしょうか？

2025年問題とは、いわゆる団塊の世代が75歳以上となることで、後期高齢者人口が急増し、医療・介護に関わる社会的負担が大きくなると予想される課題です。厚生労働省の資料によると、日本の認知症高齢者の数は2012年462万人と推計されており、団塊世代が75歳以上となる2025年には約700万人に達するとされていました。実際に65歳以上の高齢者を対象にした2022年度の調査推計では、認知症の人の割合は12%、認知症の前段階である軽度認知障害（Mild Cognitive Impairment : MCI）の人の割合は16%であり、両方を合わせると3人に1人が認知機能にかかわる症状があることになります。治療薬としては、使用時期、薬価の問題等賛否はありますが、アルツハイマー型認知症の治療薬が2023年、2024年に保険適用となったことをご存じの方もいらっしゃるかと思います。また、2024年1月には、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指すための「認知症基本法（正式名称：共生社会の実現を推進するための認知症基本法）」が施行されました。

認知症の早期発見のための検査については、2025年2月15日の第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会の学術企画としていくつか紹介させていただきました。写真を撮っておけばよかったと思うほど盛況で、みなさんの関心ごとであることを再認識いたしました。

チーム医療・管理運営研究班としても、今後、認知症に関する研修会等を企画したいと考えています。その際は是非とも奮ってご参加ください。

参考：政府広報オンライン【知っておきたい認知症の基本】(<https://www.gov-online.go.jp/article/202501-entry-7013.html>)

《今後の予定》

① 令和7年度 第45回丹但地区研究発表会（現地・Web併用）

開催日時／令和7年6月29日（日） 9:00～12:00

開催場所／公立豊岡病院

② 第29回兵庫県医学検査学会・第42回西播地区研究発表会

開催日時／令和7年7月6日（日） 10:00～15:30（予定）

開催場所／アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

③ 令和7年度 第1回東播地区ナイトセミナー（現地・Web併用）

開催日時／令和7年7月25日（金） 18:30～19:30

開催場所／明石市立市民病院 2階 講義室

行事予定案内および求人情報は、ホームページに
掲載しております。
右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報



第8回

突撃!
となりの検査室

公益財団法人 加古川総合保健センター

《所在地》〒675-0065 兵庫県加古川市加古川町篠原町103-3



●概要

施設名	公益財団法人 加古川総合保健センター
病床数	なし
部署人數 (正職員)	技師／22人、看護師／4人 男女比／1:4.5 経験年数／～5年目12人、～10年目1人、11年目～9人
勤務体制	勤務時間／8:30～17:00(健診部門) 8:30～20:30(検査部門)
第三者認証	取得済み

●検査室で行っている検査領域

検体検査	化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、聴力検査、エコー(腹部、乳腺、頸動脈、甲状腺、心臓)、血圧脈波、骨密度(エコー)

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	全般
詳細	当施設は健診センターとしての機能と地域の開業医の先生方から出検される血液検査等を行う検査部門の機能を持っています。地域の住民の方々の健康を支えることを第一に努めています。

●採血室の状況

台数	3台	採血数/1日	200人
構成メンバー	看護師4人		

●新人教育について

新人教育の進め方	【健診部門】 新人技師には指導員のもとで、年間計画に沿って業務を行い到底度は月ごとに確認をしています。
	【検査部門】 入職後は年間計画を作成し、半年をかけて各部門をローテーションしていきます。各部門がどのような業務を行っているかを覚え、基本的な操作・手技を学んでいきます。半年後には配属先が決まり、夜間業務や休日業務のトレーニングを開始していきます。
フレッシュな技師さんから一言	【末口 恵央】 血液検査および一般検査の業務を担当しているので、今後は更に専門知識を深め、地域医療に貢献していきたいです。



女性専用健診フロア



健診フロア



生化学検査部門



血液検査部門

文責：池内 あづさ 会員（加古川総合保健センター）

新シリーズ



＼趣味のイカ釣り／

西村 崇弘 会員(公立豊岡病院)



今月号より「私の推し事」というコーナーが新たに加わりました！ジャンルを問わず皆さんに自分の“推しているもの”を紹介していくいただくコーナーとなっております。このコーナーも数珠つなぎでどんどん繋げていく予定です。「ぐるめ情報」のコーナーも不定期に登場しますのでそちらも楽しみにしていてください！

藤原淳美会員（神戸大学医学部附属病院）

公立豊岡病院の西村崇弘です。私が紹介するのは趣味のイカ釣りです。

私が住む兵庫県豊岡市は日本海に面しており、そこで釣れる剣先イカ（白イカ）は夏の旬の食べ物です。イカ釣りの際に漁船が灯す集魚灯は「漁火」と呼ばれ、海岸線沿いで見られる漁火は但馬地方の夏の夜の風物詩となっています。

私が釣りを始めたきっかけは、祖父が漁師であったことと、父の趣味が釣りでよく連れて行ってくれたことです。いつの間にか私も釣りをするようになりました。私が行くのは主に船釣りで、ここ数年は父と二人で釣りをしていましたが、就職を機に職場の方々との会話の中



で、私の実家が船を所有していることや、船舶免許を所持していることが知られ、一緒に行くことも増えました。今では船の上が交流の場になっています。

昨年は、互助会主催の行事としてイカ釣りが行われ、もちろん私も参加しました。院内の様々な職種の方と船の上で交流する場となっていました。検査の同僚もそこでイカ釣りを好きになったのか、後日検査科内の釣り好きとともにイカ釣りに行きました。コミュニケーションが取れて楽しめる上に、美味しいイカが入手できる。こんなに素晴らしいものはないと自負しております。

昨年行ったメンバーと、今年もイカ釣りに行こうと話が上がっています。皆様もぜひ釣りをしてみてください。釣りはハードルが高いと感じる方は、夏の旬「白イカ」を食べにぜひ但馬に足を運んでみてください。

sysmex | Together for a better healthcare journey

**検査環境にフレキシブルに対応
HISCLシリーズ。**

医療環境の検査部門に求められる効率化と高付加価値化に必要なポテンシャルを備えて誕生しました。

全自動免疫測定装置 HISCL™-5000
医療機器製法販売届出番号：28BIX10014000011

全自動免疫測定装置 HISCL™-800
医療機器製法販売届出番号：28BIX10014000012

迅速測定 高感度 微量検体 優れたユーザビリティ

製造販売元
システムズ株式会社

(お問い合わせ先)
 支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6341-6601 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380
 営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707
 金沢 076-221-9363 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

www.sysmex.co.jp

2504

Canon

**私たち
「いのち」から始まる。**

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であるとキヤノンメディカルシステムズは信じています。
 医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。
 創業以来、つねに医療関係の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。
 その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、
 世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。
 医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。
 私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
 そして、ともに歩むために。

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000059-02

